

ニリンオイン 敗北H

詰めあわせ本

成人向
18歳未満購入不可







765プロデビューバトル アイドル水上大運動会
脱落・田中琴葉にチュパカブラのお仕置き種付け交尾！

LIVE



Team 3rd
田中 琴葉 (18)
157cm 44kg B79/W55/H78

超ビーチバレー非公式大会 罰ゲーム中継中
敗退の海理音高校エース2人にライバル校の濃厚精子生中出し！

海理音高校(千葉) 1年生
所 恵美 (16)
159cm 47kg B88/W56/H85



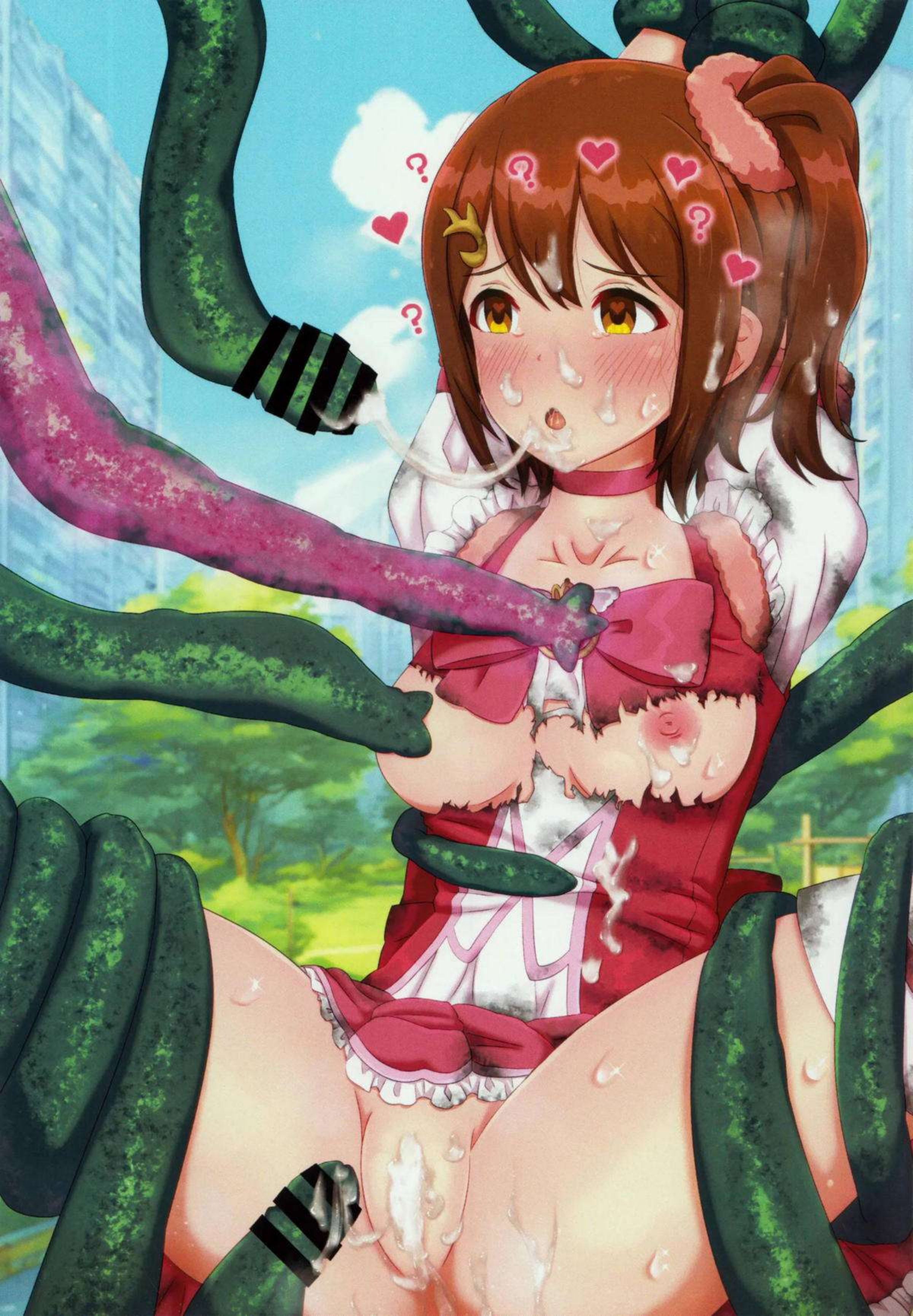


リリィナイト Lv.10

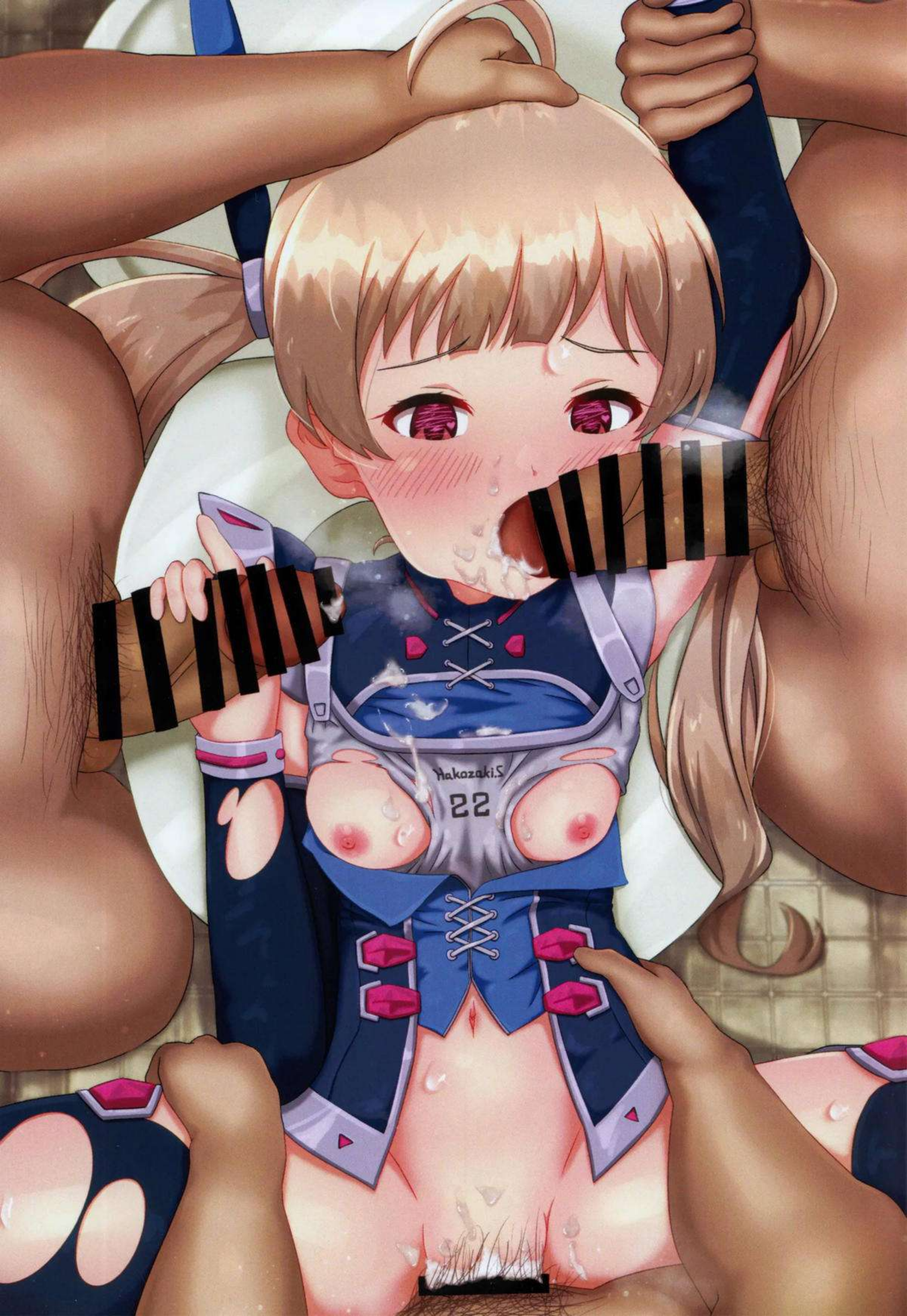
HP

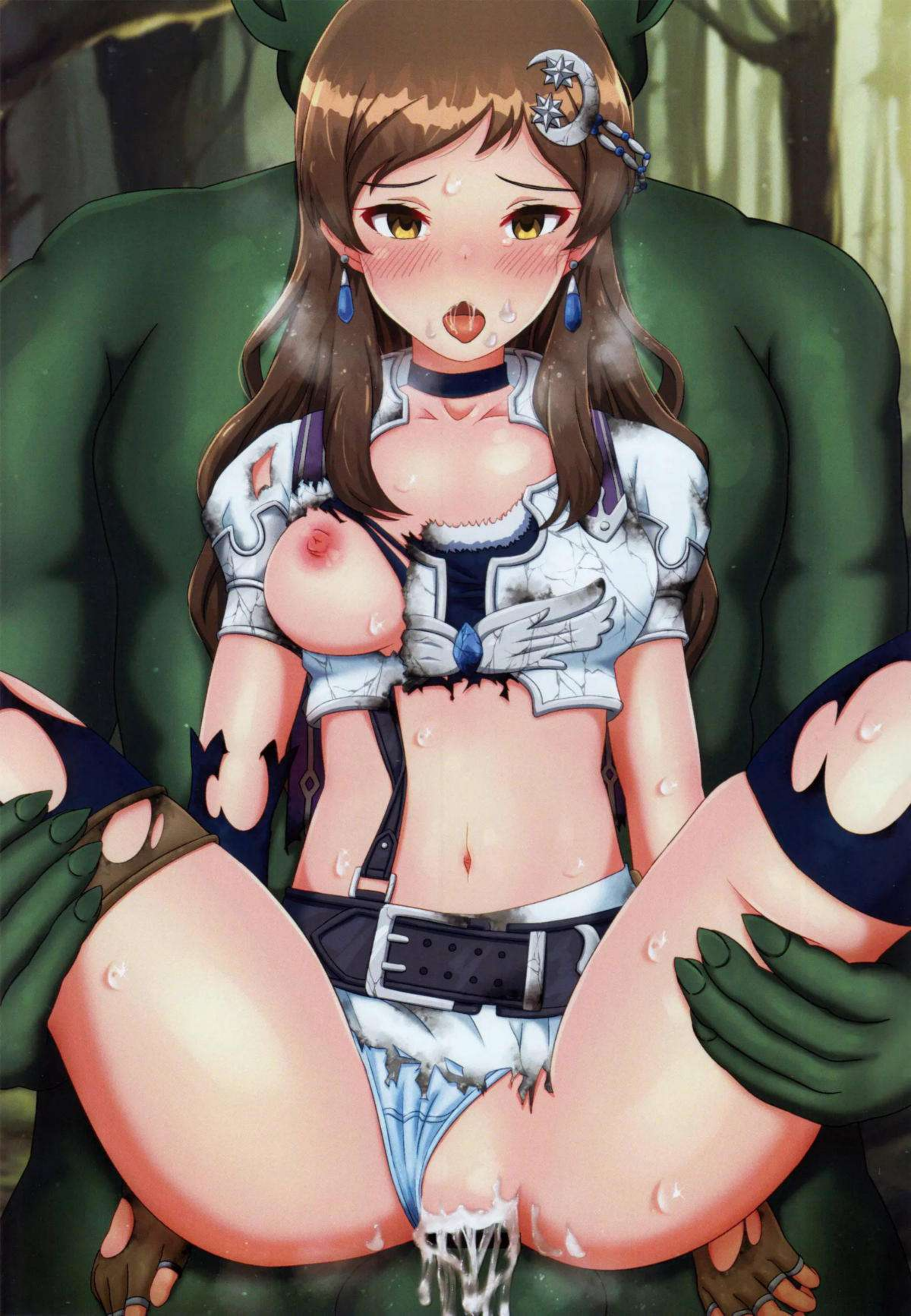
MP

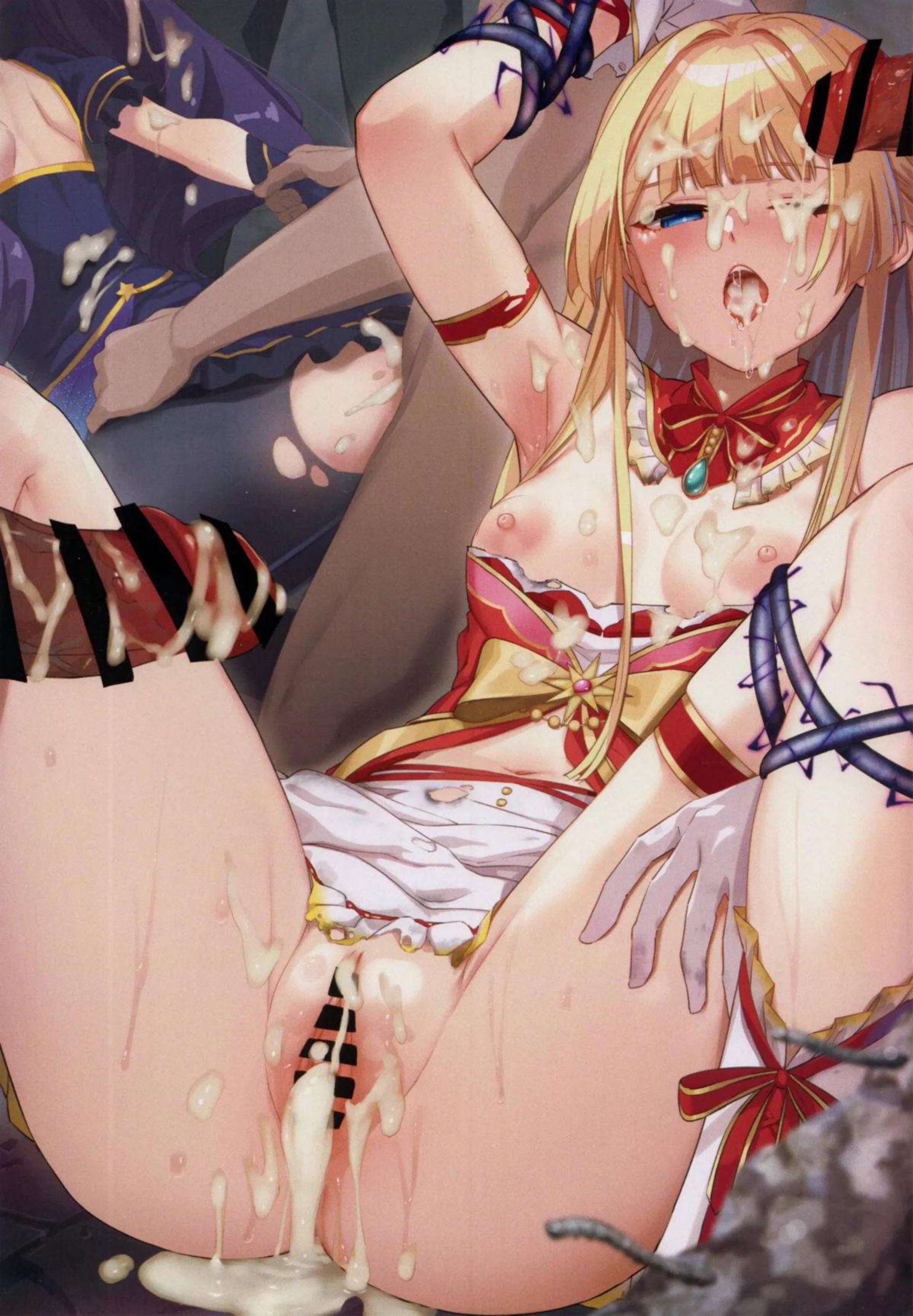
ゴブリン(Lv32)はリリィナイトの膣内にたっぷり射精した！(54ml)
リリィナイトは快楽に耐えきれず絶頂した！魔力を吸い取られた(-127MP)
リリィナイトの魔力は枯渇寸前だ！
リリィナイトは完全に戦意喪失している.....













【戦闘に関する資料】

■ヒュプノローパー

ヒュプノローパー(別名:催眠ローパー)は主に森林や洞窟に稀に生息するローパー族の希少種である。ローパー族は大した攻撃手段を持たず力も強くないため、駆け出し冒険者でも簡単に倒せる所謂雑魚モンスターだが、ヒュプノローパーは単独で遭遇してしまうと熟練の冒険者でも苦戦する極めて危険なモンスターである。通常種と見た目にはほとんど違いがなく、生息数が少なく遭遇する可能性が低いので、あまり危険性が知られていない。触手の力もかなり強化されているが、何より通常種は使わない幻惑魔法を使うのが最大の特徴。単独で対峙した際に幻惑魔法を掛けられてしまうと、対策装備無しには自力で解除することは極めて難しくあつという間に触手で四肢を拘束され、より強力な幻惑魔法を重ね掛けされ続けて戦意を喪失させられるという。一説には、ヒュプノローパーが幻惑魔法を使う最大の理由は、捕らえた相手に自身を最愛の相手だと誤認させ、生殖行為に及ぶ際の受精率および、生殖行為中の魔法吸収効率を上げるためだと言われている。

■キネティックジャマー

デストルドーの下級戦闘員は一般人を超越した腕力を持つが、ヒーローに対しては極めて弱く、最下級クラスのヒーローにすら勝ち目がなかった。ひとたびヒーローが1人でも現れようものならあつという間に戦闘員は全滅。雑魚戦闘員と呼ばれるのもやむなしである。この状況を問題視したデストルドーの研究部門(仮称)は、ヒーローをヒーローたらしめているキネティックパワーに注目した。キネティックパワーさえ奪ってしまえば、ヒーローは戦闘力を全て失い、ただの一般人になってしまうという訳だ。キネティックパワーを最も効率的に奪う手段とは、ヒーローを捕らえ直接デストル因子を注ぎ込むこと、すなわち性行為で中出しすることである。しかしそのためには身体を自由を奪わなければならない。まずは遠距離でのキネティックパワーの無効化手段が必要であった。長年の研究により、デストルドーは一種の電磁フィールドのような、キネティックパワーを四方八方に霧散させ、ヒーローがキネティックパワーの制御に集中できなくなるような領域を発生させるジャマー装置を開発した。この兵器は実戦配備直後からヒーローに対して極めて有効性を発揮し、幾度とない実戦配備と改良を重ねた結果、ついには最強クラスのマイティセーラーやジェネシスですら、下級戦闘員のみで部隊に数人掛かりであわや敗北しかける場面も見られるようになった。

■チュパカブラの生態

チュパカブラは人間と言葉を交わすことは出来ないが、ある程度人間と意思疎通出来るようで、基本的に人間に対して敵意はないようだ。だがそれは彼らが空腹ではなく、身の危険も感じていないのが大前提であった。芸能事務所765プロダクションが彼らをバラエティ番組にお邪魔役として起用した際、彼らの好物の動物の血の提供をすっかり忘れてしまい気性が荒くなっていたところに、出演アイドルの田中琴葉(18)が大きな刃物を構えて彼らに身の危険を感じさせてしまった事が引き金となり、事件は起きた。逆上したチュパカブラに海に叩き落された田中琴葉は、砂浜に上がったところを2匹がかりで押さえつけられ、彼らが飽きるまでその華奢な身体にチュパカブラの精を吐き出され続けることになった。

■超ビーチバレー非公式大会

超常的な力を持った選手たちが競い合う、高校スポーツの定番である超ビーチバレーには、非公式大会が存在する。どんな弱小校でも参加出来る参加条件の緩さや高額の賞金が目を引き、全国大会出場レベルの強豪校が参加することもあるが、その実態は理不尽なローカルルールや反則技上等の無法地帯であり、更には男女混合の試合も平然と行われる。悪質なローカルルールの中でも特に極悪なのが「試合に負けたチームは勝利チームに逆らってはいけない」というルールである。一見とても曖昧な表現であるが、実際の大会でこのルールは「勝利チームによる敗北チームの公開陵辱」という形で利用される。男子チームVS女子チームの試合は何故か必ずと言っていいほど女子チームが敗北し、試合を行ったコート上でそのまま陵辱ショーが始まったり、ロッカールームや男子トイレに連れ込まれたまま何時間も出てこなかったり、最悪の場合、興奮した観客が乱入した大乱交に発展することもある。それでも非公式大会が変わらず開催され続けているのは、賞金の高さに目が眩んだ弱小校の超ビーチバレー部や、卑怯な相手には絶対に負けないという自信がある女子超ビーチバレー部の参加が途絶えないからであろう。出場常連の男子超ビーチバレー部員によると、「負かしたチームの選手がさっきまで凛々しく立っていた試合のコート上で、学校指定のビーチバレーユニフォームを着せたまま、校章を観客に見せ付けながら横並びでガンガン犯すのが征服感があって良い」とのこと。

■「兎狩り」作戦

バニーボリスの中でも特段エリートである篠宮可憐のチームがその頭角を現し始めると、街の治安は向上の一途を辿り、犯罪組織はいっそう活動が制限され、その勢力を縮小していった。追い込まれたある麻薬カルテルは、大規模反攻作戦「兎狩り」を決行。以前から組織で猟犬として飼っていた凶暴な雄犬を薬漬けにし、周りの雌に見境なく襲いかかる常時発情期の危険な性獣に変えてしまったのだ。この性獣はバニーボリスに対して極めて相性が良く、バニーボリスの「兎」としての性欲の高さに反応するかのように繁殖のパートナーとして狙いを定め、異常なまでの執着心でバニーボリスに襲いかかった。多少の銃弾をものともしない、理性を失った性獣の猛攻に、流石のエリート警官も刃が立たなかったようだ。薬の影響で身体的にも変異した性獣の交尾は何時間にも及び、射精量は数リットルに及んだという。

■リリィナイトの物語

リリィナイトは故郷の村に突然訪れた妖精に勇者の使命を与えられ、平凡な村娘としての暮らしから一転、勇者として魔王討伐の旅に出ることになった。幼い頃から大好きな本に紡がれていた冒険譚そのもののような驚きと感動に満ちた旅路に、昂りが抑えられないリリィナイト。苦手だった魔物との戦闘にも慣れてきてだいたい自信がついてきたある日、リリィナイトは依頼の帰り道にレベルが大きく離れた1体の格上のゴブリンに遭遇。その場が洞窟のような閉鎖空間ではなく森の開けた場所であったのと、相手が1体だったことから油断したリリィナイトは経験値目当てに無謀にも戦いを挑んでしまった。まだまだ世間知らずなりリリィナイトは知らなかったのだ。ゴブリンが単独で行動することは基本的にあり得ないことを。そして、ゴブリンのような魔物に敗れた女性冒険者がどのような目に遭うのかを……。

■魔法少女と怪魔・怪人

魔法少女の倒すべき敵である怪魔や怪人たちの生命力は、元をたどれば魔法少女達に変身して戦うのに必要なエネルギーと同じタイプのエネルギーである。簡単に言ってしまうと、魔法少女たちが必要とするエネルギーは正のエネルギー、怪魔・怪人たちが必要とするエネルギーは負のエネルギーである。魔法少女達は、その正のエネルギーを魔法などの形で怪魔・怪人にぶつけることでその負のエネルギーを正方向に引っ張り、ゼロにすることで怪魔・怪人を退治をしている。魔法少女達はそこまで知らないが、この事はつまり逆もあり得るということ。怪魔・怪人たちは負のエネルギーを魔法少女達にぶつけることで魔法少女の正のエネルギーを負方向に押し込んでいるのである。魔法少女のエネルギーがゼロになってしまうと、魔法少女は変身を維持できなくなり、変身が解除されて元の姿に戻ってしまう。怪魔・怪人の体液は高純度の負のエネルギーの塊であるため、怪魔・怪人の体液を魔法少女の体内に直接注ぎ込むのが最も効率的な魔法少女のエネルギーの奪い方。そして、魔法少女の願いを込めた宝石もまた、高純度の正のエネルギーの塊である。そのため、頭の悪い怪魔・怪人は、魔法少女を犯しながら宝石からも直接エネルギーを吸収することで効率的に魔法少女を無力化する。餌食になった魔法少女は、純潔と一緒に願いや希望を根こそぎ奪い尽くされ、何が起きたかも分からないまま空っぽにされてしまうだろう。

■妖怪「大蜘蛛」

人里から離れた森林に跳梁跋扈する巨大な蜘蛛の妖怪。蜘蛛の名の通り、糸を吐いて木々の間に巨大な巣を作り、住処や狩り場として利用する。初歩的な炎の術札で簡単に撃退できることから、人間との積極的な戦いは避ける傾向にある。そのため妖怪の中では低級に位置づけられ、駆け出しの陰陽師や退魔巫女にとってはちょうどよい腕試し相手となる。妖怪はその生命源である妖力を補給・強化するために人を襲い、生殖行為によって人から巫力を吸収する。巫術を使えない一般人から得られる巫力は微々たるものだが、巫術で戦う陰陽師や退魔巫女は強大な巫力をその身に宿しており、その巫力の大きさは強さに比例する。妖怪にとって陰陽師や退魔巫女を狙うのはハイリスク・ハイリターンなのである。最強の陰陽師が低級妖怪の大蜘蛛に敗北することなど、通常ありえないことだが、万が一、その強靱な蜘蛛の糸と無数の脚によって身動きを完全に封じられてしまったとしたら、強大な巫力を吸い尽くそうと何日、何週間、何ヶ月と大蜘蛛に生殖行為を続けられ、巫力を根こそぎ奪われ大蜘蛛を超強化してしまうばかりか、胎内に大量の大蜘蛛の卵を産み付けられ妖怪の繁殖母体とされてしまうことだろう。

■アンドロイド革命後のセリカ型

ミズキ、ツムギ、シホと呼ばれた3人のアンドロイドが起こした一連の騒動は後に「アンドロイド革命」と呼ばれ、アンドロイドの心や、アンドロイドの権利について大きな議論を引き起こすきっかけとなった。何より一連の騒動でマザーAIを始めとした東京スプロールの管理部への不満が増大。特に街の下層や防護壁の外側での劣悪な環境での暮らしを強いられ虐げられてきた下層区住民達の不満は爆発し、各地で暴動や破壊工作が起きる等治安の悪化が著しかった。サイバーポリスの汎用型警備アンドロイドであるセリカ型は、治安の悪い地域での警ら中に破壊される事件が頻発していた。ある日、下層区で孤立したセリカ型を憂さ晴らしに破壊しようとした下層区住民が偶然、セリカ型の着衣の下に不必要なまでに精密な身体が構築されていることに気づいてしまった。セリカ型のボディパーツは、生殖機能こそ備えていないものの、人体と見紛うほどに精巧な少女の身体だったのだ。その噂は瞬く間に東京スプロール中に広まり、街中のあちこちの暗がりではセリカ型が卑劣な住民らにより輪姦される事態となった。

■オークの習性

オークはゴブリン等と同様に、異種族のメスと生殖行為を行い子孫を残そうとする魔物である。ゴブリン等の種族は手当たり次第に人間の女性を襲うが、オークは他種族とは違い生殖の相手を選び好みすると言われている。オークは非情に高い頭脳を持ち、種族として武闘派で好戦的な性格であるため、戦いにおいて自分と互角に戦えるほどの強さを持ち、気が強い人間の女性を特に好む傾向があるようだ。ルーントリガー志保は不幸にもこの条件にピッタリと合致してしまったが故に、紙一重で敗れたオークに生殖の最高のパートナーとして見初められてしまい、一時も離さず巨軀に抱き抱えられ、心が折れてもなおオークの濃厚な子種をその身に吐き出され続けることとなった。

■月兎隊とファン

月兎隊の懸念通り、月の秘宝は得てしてそれを悪用せんとする人たちの手に渡ることが多く、今回もまた、月兎隊は月の秘宝を手にした富豪が主催する、世界中の富豪たちが各々の富を見せびらかしに集うパーティーに潜入していた。月兎隊の頭脳であるミス・Wはターゲットの月の秘宝が、思考力・身体能力を向上させるドーピング剤のような香水だと考えていた。しかし実際はその成分を接種した対象に極めて強力な媚薬かつ精力強壮剤のような効果をもたらす代物だったのだ。そして、ミス・Wは重要な事実を見落としていた。怪盗団として月兎隊がその名を馳せていくにつれ、各界の富豪の中にも彼女たちの「ファン」が増えていたことに。ターゲットの月の秘宝を持つ富豪は、ミス・Wの美貌と豊満なボディに魅せられた「熱心なファン」だった。あえて月兎隊がパーティーに忍び込むように画策したこの富豪は、わざと隙を見せたフリをしてミス・Wを私室に誘い込み、秘薬の強力な媚薬効果でミス・Wをセックスのことしか考えられない文字通り発情期の兎に変えてしまった。ただ一心に雄を求め続ける雌兎に「ファン」が群がり、月の兎の如き絶世の美女とブクブクと肥えた豚の如き富豪たちがまぐわう歪な乱交パーティーはひと晩中続いたという。



あとがき

こんにちは。けみすべりです。

この度は本誌をお手に取ってくださり本当にありがとうございます。

前回はミリオン39人全員のSSR衣装着衣いちゃラブえっち本でしたが、今回はうってかわって敗北エッチつめあわせ本になりました。敗北エッチ本は弊サークル2冊目になります。

ミリオンで敗北エッチというアイドルヒーローズというかマイティセーラーが最大で最強テーマですが、他にもグリマス時代のガシャやイベにも戦うヒロイン系は沢山ありますし、ミリシタでも沢山誕生し続けているので、ミリオンは本当に敗北エッチ向きのテーマが揃ってて神です。本誌でもなるべく幅広いテーマから様々なシチュを集めてみました。スポーツ競技で負けたら罰ゲームで犯されるやつも広義では敗北エッチです。(個人の感想です)

カッコよくて可憐な戦うヒロインが命を賭して戦いに挑んでいるのに敵側はヒロインを負かして種付け交尾することしか考えてなくて負けたら最後、無惨にも欲望を吐き出され続けて抵抗虚しく心がポッキリ折られて戦意喪失、白濁に汚されながら目の光が失われて行っちゃう感じが本当に何よりも大好物なのですが、個人的に血が出たりとか四肢が永遠にその体とおさらばしたりするのは苦手です。

変身ヒロイン系はキネティックとか魔法とかの不思議な正義パワーで身体が保護されてるのでどんなに鋭利な武器で切りつけられても切れるの衣装だけでお肌はすべすべのままだし、どんなに筋骨隆々の化け物に殴られて吹っ飛ばされても痛いだけで身体はあざひとつなく、どんなに巨根なアレをねじ込まれてお腹が変形しても可哀想なだけで抜いたら元通りです。なんたって正義のパワーで守られてますからね。学園サバイバルとか不思議な力がなさそうなテーマはまあ……優しく扱ってもらって……

そして何より今回、ゲストに秋乃こみちさんをお招きして大変えっちな魔法少女サン・ムーンの敗北イラストをご寄稿いただきました！ミリオンの敗北エッチといえはこの人(個人の感想です)というぐらいこみちさんの描く無理矢理系のイラストが本当に大好きでして、今回ゲストとしてお招きすることが出来て大変嬉しく思います！魔法少女が禍々しいいかにも悪なモノに身動きを封じられてるとめちゃう興奮しますよね……

そういえば、ちょうどこの本を頒布したコミケ当日の1週間前にミリアニのTV放送が完結してるはずですね。劇場先行公開も何度も通ってしまうぐらい良い出来だったので、是非2期3期と頑張ってください、アイドルヒーローズとか丸ごと劇中劇やる回も見たいなあ……って思います。そして世の敗北エッチ絵師の皆様の目に止まって敗北エッチ供給が増えてくれたらいいなあ(本音)

次回は多分次の夏コミになると思います。敗北えっち本続編にするか、スポーツえっち本(様々なスポーツコスでエッチするイラスト本)で悩み中です。気長にお待ちいただければ幸いです。それでは、いつか、また。

ゲスト：秋乃こみちさん

いっぺん描いてみたいと思ってた髪色変更の静香を描きましたが、事前情報がないと静香だとわからないですねこれ。

Pixiv: <https://www.pixiv.net/users/10136>

※本書は非公式の成人向け二次創作物です。未成年者の閲覧・購入はできません。

※本書の一部または全部をインターネット上に無断でアップロードしないでください。(表紙の写真のみアップ可)

※本書のオークションサイト・フリマアプリ等への出品を固く禁じます。

ご処分の際は燃えるごみへの分別か、中古販売業者(まんだらけ・らしんばん等)の買取をご利用ください。

※本書のスキャン画像やインターネット上のサンプル画像等を、HP・SNS・ヤフオク等に無断転載しないでください。

画像盗用時は画像1枚あたり1日10万円の使用料の支払いに同意したものとみなします。

発行 : 業務用ジュエル

発行日 : 2023年12月31日 コミックマーケット103

イラスト : けみすべり

印刷 : 有限会社ねこのしっぽ (<https://www.shippo.co.jp>)

Twitter : <https://twitter.com/chemisberry>

Pixiv : <https://www.pixiv.net/users/62109532>



簡単なお感想アンケートにお答えいただくと、**おまけの敗北エッチ画像**がご覧いただけます。お気軽にどうぞ！↑



業務用ジュエル